

平成 19 年 8 月 21 日
アイエヌジー投信株式会社

ING・プレステージ&ラグジュアリー・ファンドの基準価額の動向と市場環境について

平素は「ING・プレステージ&ラグジュアリー・ファンド」に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、先週末(8月17日)の「ING・プレステージ&ラグジュアリー・ファンド」(以下、当ファンド)の基準価額は9,131円となり、前週末(8月10日)と比べて1,075円下落しました。当ファンドの基準価額が下落した原因は、主に1)海外株式市場の下落と2)主要通貨に対する円高に因るものです。

先週の基準価額算出に対応する8月10日から16日までの外国株式相場は、米国のサブプライムローン(低所得者向け住宅ローン)問題を発端とした信用不安が一層高まったことから、全面安の展開になりました。主要指数の16日の終値は、NYダウ工業株30種平均が9日の終値に対して424ドル90セント(3.20%)安の12845.78、英FTSE100種総合株価指数は同412.30ポイント(6.57%)安の5858.90、独DAXは同183.52ポイント(2.46%)安の7270.07、仏CAC40種指数は同359.31ポイント(6.39%)安の5265.4と大幅に下落しました。

また、外国為替市場においても、世界的な株安を受けて、投資家のリスク回避姿勢が強まり、円資金を調達して外貨建資産へ投資する「円キャリー・トレード」の巻き戻しが一層進んだことから急速に円高が進み、ドル円では一時、昨年6月以来の水準となる1ドル=112円台まで上伸しました。

<ご参考: 基準価額算出期間の主な指数の動向>

株価指数

株価指数	9日終値	16日終値	騰落率
NYダウ工業30種	13270.68	12845.78	-3.20%
FT100指数	6271.20	5858.90	-6.57%
ドイツDAX	7453.59	7270.07	-2.46%
フランスCAC	5624.78	5265.47	-6.39%

為替レート

為替レート	10日仲値	17日仲値	騰落率
米ドル/円	117.99	113.89	-3.47%
ユーロ/円	161.21	152.84	-5.19%

※為替レートは三菱東京UFJ銀行 対顧客電信相場 (基準価額対応期間)

本資料は、アイエヌジー投信株式会社が情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。一般的または特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料記載の統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、アイエヌジー投信株式会社あるいはその関連会社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時における判断であり、予告なしに変更されることがあります。アイエヌジー投信株式会社とその関連会社等は、本資料の利用に起因する、いかなる直接・間接の損害にも責任を負いません。過去の成績は将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。

当ファンドは主にプレステージ&ラグジュアリー・ブランド企業の多い米国と欧州の株式で運用しており、今回の株安と主要通貨に対する円高が当ファンドの基準価額の下落に影響を与えました。

＜ご参考＞ING・プレステージ&ラグジュアリー・ファンドの基準価額の変動要因

8月10日 基準価額	8月17日 基準価額	合計	構成		
			株式	為替	信託報酬等
10,206	9,131	-1,075	-638	-435	-2

今後の見通し

株式市場では今後しばらくの間、サブプライムローン問題を巡って神経質な展開が続くと予想されます。しかしながら、17日に米連邦準備理事会(FRB)が臨時の米連邦公開市場委員会(FOMC)を開き、FRBが民間金融機関に資金を貸し出す際の金利である公定歩合を緊急に0.5%引き下げ、年5.75%にしたことをはじめ、日米欧の金融当局が、米国のサブプライムローン問題を克服するために歩調を合わせる姿勢を見せており、全容の把握が進むにつれて市場の混乱も徐々に安定に向かうものと予想されます。為替相場も信用リスクへの過度の警戒感が和らげば、再び安定した動きに戻るものと思われれます。

こうした中で、当ファンドの投資対象であるプレステージ&ラグジュアリー・ブランド企業は、依然好調な高級品需要の恩恵を受け、今後の業績見通しも良好であるという見方に変わりはありません。引き続き株価や消費動向を十分に注視しながらもブランド力が強く、高品質の製品やサービスを継続的に提供する企業や、圧倒的なブランド構築につながる革新的な商品開発戦略をとる企業の株式を組入れていく方針です。

以上

本資料は、アイエヌジー投信株式会社が情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。一般的または特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料記載の統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、アイエヌジー投信株式会社あるいはその関連会社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時における判断であり、予告なしに変更されることがあります。アイエヌジー投信株式会社とその関連会社等は、本資料の利用に起因する、いかなる直接・間接の損害にも責任を負いません。過去の成績は将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。